

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	当院における COVID-19 患者の呼吸療法と食事形態の関係
所属科	リハビリテーション科
研究責任者	高橋 忠志
研究期間	倫理委員会許可日～2022年12月31日
研究概要	<p>○目的</p> <p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2019年12月に中国武漢で報告され、当院では2020年1月29日のチャーター機の患者から受け入れを行ってきた。COVID-19は肺炎を引き起こし、呼吸療法や薬物療法がおこなわれる。呼吸療法は主に酸素療法や腹臥位などのポジショニング、呼吸リハビリテーションが行われる。</p> <p>酸素療法には鼻カヌラやマスク、高流量鼻カヌラ（HFNC）、人工呼吸器、ECMOなどがある。</p> <p>HFNCは、通常のリザーバーマスクで酸素化が維持できない場合、人工呼吸管理に移行する前の選択肢となる。鼻より高流量の酸素を流すことが可能であり、口をふさがないことから、経口摂取や音声でのコミュニケーションが可能である。しかし、健常人におけるHFNCと嚥下機能について、40L/minを超えると嚥下困難感が増すことが報告されており、実臨床の場においてHFNC使用時の経口摂取の安全性については不明である。</p> <p>そこで、当院にてCOVID-19に対しHFNCを行った患者を対象とし、食事形態、摂取量、誤嚥性肺炎発症の有無について調査することで、COVID-19患者がHFNC下で安全な経口摂取が可能であることを明らかにすることを目的とする。</p> <p>○対象</p> <p>対象患者：2020年1月29日～2021年10月31日の間にCOVID-19で当院に入院し、酸素療法を行った患者</p> <p>選択基準：COVID-19患者で経口摂取が可能なる者</p> <p>除外基準：経口摂取していない者</p> <p>○方法</p> <p>2020年1月29日～2021年10月31日の間にCOVID-19で当院に入院し、酸素療法を行った患者を診療記録より後ろ向きに調査する。</p>

	<p>○利用する項目</p> <p>調査項目は年齢、性別、発症日、喫煙の有無、BMI、酸素療法、入院時の重症度、合併症（悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、2型糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満（BMI30以上）、固形臓器移植後の免疫不全、妊娠後期）の有無、入院前の食事形態、NFHC管理下での食事形態、食事摂取量、誤嚥性肺炎の有無、リハビリテーション実施の有無、在院日数、転帰先、血液検査データ、投薬内容、HFNC使用期間、離脱後からの退院までの期間、など</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	<p>エクセルファイルでデータベースを作成し、症例の入力は個人が特定できないように、独自の番号を割り付け、対応表は作成しない。</p> <p>作成したエクセルファイルはパスワード設定し、院内のファイルサーバーで保管する</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問合せ先までご連絡ください。</p>
臨床研究登録の有無	<p><input checked="" type="radio"/>・有（臨床研究登録番号： ）</p>
研究の問合せ先	<p>公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院 リハビリテーション科 高橋 忠志 〒145-0065 住所：東京都大田区東雪谷 4-5-10 TEL： 03-5734-8000（代表）</p>
結果の公表について	<p>学会発表および論文で報告する。</p>
利益相反について	<p>特になし</p>